

2023年度 自己評価結果シート① 職員数8名 (設問によっては総数6名)

A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分でない D 取り組みが不十分である

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
Ⅰ 保育の計画性	・園の教育理念や教育目標を理解している	6	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育理念や教育目標を念頭に置きながら保育計画を立てることが出来た、子ども達の姿をしっかりと捉えて振り返りながら計画を立て直していった。 ・2人担任で子どもの成長や状況を把握、共有することで細かく対応出来ていた。 ・職員会議を定期的に関くことが園全体で情報共有する事に繋がっていった。 ・2人担任の為、仕事の分担や指導に関して曖昧な部分が発生するため細部まで共通認識を持ち決定しておく必要性が見られた。
	・幼稚園教育要領を理解していると思う	5	3	0	0	
	・園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てている ※総数6名	2	3	1	0	
	・日、月案は、園の方針、教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している ※総数6名	4	2	0	0	
	・安全面に留意し、季節に応じた環境構成を取り入れている	6	2	0	0	
	・幼児の声を聞きながら、主体的活動を進めていく環境構成を考えている	5	2	1	0	
	・幼児の心の動きをみながら、活動の展開に応じて環境を再構成している	4	3	1	0	
	・日々の保育の評価・反省は、その日のうちに行い、記録にとめ、次の保育にいかせるようにしている	2	4	2	0	
Ⅱ 保育者の在り方、 幼児への対応	・朝の視診は、丁寧な声掛けで必ず一人一人行い、その日の健康状態を見極めて対応している	4	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の視診で、丁寧な声掛けを行い健康状態を職員で把握に努めた。 ・園全体で子どもに関わるといった共通意識のなかで過ごす事が出来た。 ・子ども達が安全に遊べるように、保育者間で連携を取っていた。 ・日々の保育の中で自主性が育つように、保育者も関わりながら過ごす事が出来た。 ・子どもには担任、時間勤務の職員に関わらず一貫性を持った関わり方が大切で必要であると感じた。 ・保育者間でコミュニケーションを大切にしながら子どもの未来の為に関わっていく必要があると感じた。
	・年齢によっては遊びの幅も違うことを理解したうえで環境構成の中で危険はないか配慮している	5	3	0	0	
	・毎月の安全チェックとともに各クラス単位でも安全についての話をするように心がけている	2	5	1	0	
	・一人ひとりを大切にしてスキンシップをとりながら、思いやサインを受け止めるよう心がけている	7	1	0	0	
	・幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	5	2	1	0	
	・幼児の理解のために(言いにくいこともしっかり伝え)家庭との連携をとる	4	4	0	0	
	・幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	5	2	0	0	
	・幼児が自ら考えたり工夫したり出来るように見守り、行き詰っているときには適切な援助をする	5	3	0	0	
	・クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	5	3	0	0	
	・常に幼児の発達段階に応じた対応を心がけ、教師の感情で対応をするようなことはない	6	2	0	0	
	・幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	7	1	0	0	

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
Ⅲ 保育者としての資質と能力	・保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	5	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてどのように子どもと関わりを持って過ごすか、声掛けや自主性を持ち楽しんで活動できるように援助出来た。 ・保護者の方達と信頼関係が築けるように子どもの様子を伝え笑顔で会話するように努めた。 ・困った事や悩み事が発生した時に先輩保育者に相談するようにしたい。
	・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	8	0	0	0	
	・使ったものは元の位置へ必ず返し、次の人が困らないよう整理整頓している	6	2	0	0	
	・締め切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	6	1	1	0	
	・教職員全員で一つのチームであることを自覚し、自分で得た情報など必ず報告・連絡・相談する	7	1	0	0	
	・他者の意見を素直な気持ちで聞く、自分の意見を述べるよう努める	7	1	0	0	
Ⅳ 保護者への対応	・保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス通信、シール帳やHP を活用してこまめに子どもの様子を発信することが出来た。 ・保護者の方へ怪我やトラブルを伝えるときには、言葉遣いや伝え方に配慮するようにした。 ・保護者の方との関わりの中で保育観も伝えることが出来た継続して課題とする。
	・保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くよう心がけ、伝えるべきことは的確に伝える	5	3	0	0	
	・保護者の個人情報の管理については園の方針に従い口外しない	8	0	0	0	
	・電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	5	3	0	0	
	・保護者からクレームがあった場合は、教職員全体で検討し、共通の理解のうえで対処する	8	0	0	0	
Ⅴ とのかかわり 地域の自然や社会	・園外散歩や田畑の活動（大地のあそび）を通じて自然に親しみ地域の方々との挨拶や会話も積極的に行っている	4	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった園外活動を行ってきたが、もっとお散歩を増やすなどを活動的に行っていく必要がある。 ・小学校との連携を大切にしてみんなで地域を守っていききたい。
	・小学校教育を理解しようと心がけ、卒園した子ども達との会話も積極的に行っている	2	6	0	0	
	・子育て支援や地域開放について、教職員全体で話し合い取り組もうとしている	5	3	0	0	
Ⅵ 研修と研究	・研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する ※総数6名	2	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放あひるの会では、地域の方が口コミで参加して常連さんとなり親子で楽しい様子があった。 子育て相談あり地域の幼稚園として根差したい。 ・研修を行うことで、専門性を高め、知識を再認識し
	・幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う ※総数6名	3	3	0	0	
	・教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う ※総数6名	2	4	0	0	
	・アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	5	3	0	0	

<ul style="list-style-type: none"> ・遊具・教材の使い方や利用方法について研究している ・園内の環境（田畑やホールを含めて）を活用するうえでの研究・計画に努めている 	4	4	0	0	<p>ていくことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教材を把握し普通の遊びやクラス活動にもっと利用していきたい。
	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的には、難しいが園内での研修の回数を増やしていきたい、また保育者間で子どもについてじっくりと話合う時間が必要と思う。園内研修への取り組みが課題となる。